

## 第20回海洋深層水利用学会全国大会 海洋深層水2016 滑川大会報告

清水勝公（海洋深層水利用学会 研究発表企画委員会委員長）

「海洋深層水2016 滑川大会」が、本年11月11日（金）、12日（土）の両日、富山県滑川市「滑川市民交流プラザ」におきまして、開催されましたことを報告します。大会の概要は以下の通りです。

【主催】 海洋深層水利用学会

【後援】 文部科学省・水産庁・富山県・滑川市・入善町

【協賛】 富山県深層水協議会

【研究発表企画委員会】

委員長 清水勝公（清水建設株式会社）

委員 白石 學（一般社団法人マリノフォーラム21）

後藤裕康（静岡県水産技術研究所）

大貫麻子（一般社団法人海洋産業研究会）

実行委員会（開催場所対応委員会）

委員長 五十嵐康弘（富山県立大学）

委員 藤井 侃（富山県深層水協議会・五洲薬品株）

古米 保（富山県深層水協議会）

葭田隆治（富山県深層水協議会）

石川久勝（滑川市海洋資源振興課）

岩田俊樹（滑川市海洋資源振興課）

泉 宏明（滑川市海洋資源振興課）

梅澤武志（入善町キラキラ商工観光課）

湊屋竜介（入善町キラキラ商工観光課）

廣島佑樹（入善町キラキラ商工観光課）

福澤秀人（富山県深層水協議会・富山県商工労働部）

上田弘大（富山県深層水協議会・富山県商工労働部）



高橋会長挨拶



会場の様子

【開催状況】

開会挨拶

高橋正征（海洋深層水利用学会会長・東京大学名誉教授・高知大学名誉教授）

五十嵐康弘（実行委員長・富山県立大学教授）

大坪昭一（来賓祝辞・富山県商工労働部長）

上田昌孝（来賓祝辞・滑川市長）

口頭発表：23題

海洋・水質／生物・水産／農業・畜産関連：8題（座長：大塚耕司 大阪府立大学大学院教授）

健康・医療関連：7題（座長：大内一之 東京大学大学院特任研究員）

利活用システム関連他：8題（座長：川北浩久 高知県海洋深層水研究所長）

ポスター発表：3題

特別シンポジウム：富山湾深層水の有効利用と商品の販売戦略

S1.富山湾海洋深層水を利用したタラソテラピー（健康増進）の取り組み

新村哲夫（富山大学大学院）

S2.富山湾海洋深層水を活用した特定保健食品（キレアウォーターによる腸内環境改善）の開発

と販売 松井秀仁（五洲薬品㈱）

S3.海洋深層水を活用したカキの6次産業化 鷺足恭子（㈱ジーオー・ファーム）

S4.富山湾海洋深層水の農業とアルコール発酵への利活用

蒔田隆治・古米保（富山県深層水協議会）

S5.富山県における海洋深層水の利活用状況について 福澤秀人（富山県深層水協議会事務局）

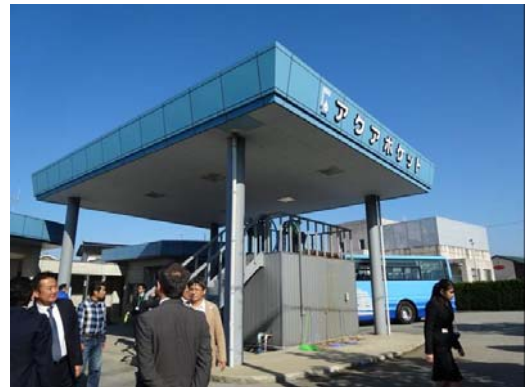
【見学会】 ほたるいかミュージアム、タラソピア、分水施設アクアポケット、入善深層水活用施設、牡蠣センター、牡蠣ノ星視察

【参加状況】 参加者：会員 82 名、一般 18 名、学生 2 名、総員 102 名（スタッフ含む）  
（韓国、台湾の海外から約 15 名）

【関連開催事項】

(1) 第4回学会賞授与式：4名、4団体が受賞

(2) とやま深層水フォーラム（海洋深層水利用促進委員会  
2016 滑川大会）



見学会の様子

本大会の研究発表者数は口頭発表 23 題、ポスター発表 3 題で行い、口頭発表における 1 題の持ち時間を「15 分/題（質疑込み）」で実施しました。また、全体スケジュール的には 1 日目 9 時半から 18 時、2 日目が 8 時 45 分から 10 時 45 分で行いましたが、無理のない発表が確保できたと思

います。2 日目の開始時間を 8 時半、終了時間を 11 時 15 分に延長できるとすると（今大会より 45 分延長）、最大研究発表題数を 26 題程度まで増やすことができるので、次回からの受付題数の参考となります。また、「富山湾深層水の有効利用と商品の販売戦略」と銘うってもたれた特別シンポジウムは基調講演 5 題×25 分/題、パネルディスカッション 25 分（パネラーの持ち時間：5 分/名）で行いましたが、会場も巻き込んだ対話時間としては多少短いと思われ、1 時間程度の持ち時間が必要と考えます。

参加者の参集状態については先の久米島大会の 150 名に対して、今回が 120 名と少ないものの、前々大会までの 100 名に対しては増加傾向にあり、ホームページや理事各位及び地元対応実行委員を通じた小まめなフォローの重要性を再認識しました。しかし、参集者の構成では、「学生の参加・発表が減少」しており、将来性を踏まえると憂慮せねばならず、会員の先生方へのお願い事項として検討していきたいと考えています。

大会開催に当りましては、富山県深層水協議会関係者、富山県立大、富山県、滑川市、入善町また地元企業の皆様方には多大なご協力を得て準備・運営することができましたことを、本紙面を通じましてお礼を申し上げます。

最後に、会員の皆様方には、日頃、本学会活動にご理解とご協力を賜りまして、当大会の開催責任者として感謝申し上げます。次年度は「羅臼町（羅臼町・八雲町・岩内町の三町合同開催）」での開催となりますが、スケジュール調整の上、多数の御参加を賜りますようお願い申し上げます。